

事業所名

Ohana・Pono

## 支援プログラム

作成日

2024年

10月

1日

法人（事業所）理念		子どもの笑顔を大切に。子どもの個性を大切に。子どもの意見を大切に。職員一同が子どものお手本となるよう自らが率先して学び、信頼される人間を目指します。					
支援方針		心と身体を育み、安心して過ごせる場所の提供。 一人ひとりの個性と長所を伸ばすための療育支援。 自己選択・自己決定の経験を増やす。					
営業時間		9時	30分	18時	30分	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	・手洗い、うがいや荷物の整理を通して身边を清潔に保ち、身の回りを整える力を身につけます。・おやつでは集団でのルールやマナーを学びみんなで食べる楽しみを味わいます。 ・後片付けの習慣を身につける。・必要なものを自分で準備する習慣を身につけることで忘れ物が減ることや考える力をつけます。					
	運動・感覚	・外遊び（公園での鬼ごっこ、水遊び等）・サーキットトレーニング ・体力測定・クラブ活動（工作クラブ、ダンスクラブ、他）					
	認知・行動	・宿題やOhanaで過ごすスケジュールを職員と一緒に考えて取り組む。 ・毎月のカレンダー作成 ・SST（言葉使い、交通マナー、人との距離感、事業所でのルール、物を大切に、お金について、夏場の水分補給について、時間について、食べ物のマナーについてなど）					
	言語 コミュニケーション	・本読み、紙芝居などの読み聞かせ ・カードゲーム、ボードゲーム ・小集団でのブロック遊びや制作活動での話し合い ・お誕生日会 ・お楽しみ会など					
	人間関係 社会性	・年齢差のある集団で、お世話をしたり、されたりの関係性から自然発生的に行動や言語のモデリングが行われており、リーダーシップや自己肯定感を育てる関りができる。					
家族支援		・保護者との定期的な面談の実施 ・日ごろから子どもの様子を保護者に伝えあい子どもの発達の状況や課題について共通理解を図る。			移行支援	学校との連携を通し、施設以外の子どもの様子も把握したうえでどの環境でも適切な支援が受けられるよう地域の中で安心して日常生活を送ることを目指している。	
地域支援・地域連携		学校との連携を通し、施設以外の子どもの様子も把握したうえでどの環境でも適切な支援が受けられるよう地域の中で安心して日常生活を送ることを目指している。			職員の質の向上	・研修の実施（子どもの様子の変化の話し合いや支援プログラム向上のための話し合い、身体拘束、虐待研修の実施、新人研修など）	
主な行事等		・Ohana・café（保護者と一緒に事業所での過ごし方を見ていただく） ・体験学習（地震体験、火災体験、高齢者施設訪問など） ・ハロウィン、クリスマス会等					